

氏名	国分 貴徳	部署	理学療法学科	職名	助教
研究分野	基礎理学療法、運動器理学療法				
学位	博士（医学、東京医科歯科大学）、修士（リハビリテーション学、埼玉県立大学）、学士（理学療法学、埼玉県立大学）				
学歴	2016年9月 東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科 修了 2011年3月 埼玉県立大学大学院 保健医療福祉学研究科 修了 2004年3月 埼玉県立大学 保健医療福祉学部 理学療法学科 卒業（理学療法士）				
経歴	2011年5月 ～ 現在 公立大学法人 埼玉県立大学 理学療法学科 2004年4月 ～ 2011年5月 医療法人 名圭会 白岡整形外科 リハビリテーション科				
所属学会（役職）	国内：日本理学療法学会、埼玉県理学療法学会（学術局編集部長）、専門リハビリテーション研究会（編集委員） 国際：Orthopaedic Research Society (ORS), Society for Neuroscience (SfN), International Society for Physical and Rehabilitation Medicine (ISPRM)				

【2016年度実績】

1. 研究業績					
著作・論文・学会発表等の名称	単著・共著の別	(1)発行所、全ページ数 (2)雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ (3)学会名、開催都市	(1)(2)著者、編者名 (3)発表者（発表者は○印）	発行・発表年月	
(1) 著作					
1 該当なし					
2					
3					
(2) 論文					
1 Acute chondrocyte response to controlling joint instability in an osteoarthritis rat model	共著	Sport Sciences for Health 1-7	Kenji Murata, Kenji Murata, Naohiko Kanemura, Takanori Kokubun, Yuri Morishita, Tsutomu Fujino, Kiyomi Takayanagi	2016.9	
2 Effect of Changing the Joint Kinematics of Knees With a Ruptured Anterior Cruciate Ligament on the Molecular Biological Responses and Spontaneous Healing in a Rat Model.	共著	The American journal of sports medicine 44(11) 2900-2910	Kokubun T, Kanemura N, Murata K, Moriyama H, Morita S, Jinno T, Ihara H, Takayanagi K	2016.9	
3 肩関節周囲炎に対する運動療法と肩峰下滑液包注射の効果に対する一考察	共著	理学療法-臨床・研究・教育 24(1) 106-109	国分 貴徳, 大野 元気, 藤野 努, 小川 勝由, 四維 浩文	2017.3	
4 両膝全人工関節置換術後に関節不安定性を呈した症例	共著	理学療法-臨床・研究・教育 24(1) 97-101	三井 直人, 国分 貴徳	2017.3	
5 発症から8年が経過した片麻痺患者のリーチ動作の獲得を目指して 生活期における脳卒中片麻痺患者に対するクリニカルリハビリテーション	共著	理学療法-臨床・研究・教育 24(1) 88-92	園尾 萌香, 平田 恵介, 国分 貴徳	2017.3	
6 関節運動の変化が関節軟骨・半月板に及ぼす影響 運動学的異常は関節軟骨・半月板変性の独立した危険因子であるのか	共著	理学療法-臨床・研究・教育 24(1) 77-83	村田 健児, 国分 貴徳, 鬼塚 勝哉, 藤原 秀平, 中島 彩, 森下 佑里, 藤野 努, 高柳 清美, 金村 尚彦	2017.3	

7	高齢者のスクワット動作における逆動力学的解析	共著	理学療法-臨床・研究・教育 24(1) 73-76	丸毛 達也, 金村 尚彦, 山崎 弘嗣, 白銀 暁, 国分 貴徳, 藤野 努, 塙 大樹, 山下 祐輔, 高柳 清美	2017. 3
8	歩行時におけるArm swing、体幹回旋、及び骨盤回旋の非対称性の傾向とその相互関係に関する検討、並びにArm swingパラメータの検証	共著	理学療法-臨床・研究・教育 24(1) 68-72	平田 恵介, 国分 貴徳, 一寸木 洋平, 久保田 圭祐, 園尾 萌香, 金村 尚彦	2017. 3
(3) 学会発表					
1	The Morphological Changes of Enthesis Caused by Specific Contractions of Antigravity Muscle-Tendon Unit in Rats	共著	Orthopaedic Research Society Annual Meeting, San Diego, United States	Motoki KUROO, Takanori KOKUBUN, Kenji MURATA, Naohiko KANEMURA	2017. 3
2	Ultrasound images to determine dynamic changes and muscle activity in the gastrocnemius muscle while squatting	共著	Orthopaedic Research Society Annual Meeting, San Diego, United States	Kohei YOSHINO, Takanori Kokubun, Naohiko Kanemura	2017. 3
3	muscle synergies underling sit-to-stand tasks: relationship to kinematic characteristics	共著	XXI Congress of the International Society of Electrophysiology and Kinesiology, Chicago, United States	Hanawa Hiroki, Kubota Keisuke, Kokubun Takanori, Marumo Tatsuya, Murata Keita, Hoshi Fumihiko	2016. 9
4	Split-belt treadmill歩行における身体質量中心の前額面変動の傾向	共著	第25回 埼玉県理学療法学会、埼玉	平田恵介、宮澤拓、国分貴徳、一寸木洋平、久保田圭祐、園尾萌香、金村尚彦	2016. 12
5	歩行時のarm swing のパラメータと対称性の検討	共著	第35回 関東甲信越ブロック理学療法士学会、横浜	平田恵介, 国分貴徳, 一寸木洋平, 久保田圭祐, 宮澤拓, 園尾萌香, 金村尚彦	2016. 10
6	変形性膝関節症における膝関節の力学的動態	共著	第35回 関東甲信越ブロック理学療法士学会、横浜	園尾萌香, 国分貴徳, 久保田圭祐, 平田恵介, 金村尚彦	2016. 10
7	運動学的異常の制動は変形性膝関節症の進行を遅延させる	共著	第35回 関東甲信越ブロック理学療法士学会、横浜	村田健児, 国分貴徳, 森下佑里, 藤野努, 鬼塚勝哉, 藤原秀平, 中島彩, 高柳清美, 金村尚彦	2016. 10
8	損傷膝前十字靭帯の治癒靭帯における再神経化への可能性	共著	第35回 関東甲信越ブロック理学療法士学会、横浜	金村尚彦, 国分貴徳, 森下佑里, 村田健児, 鬼塚勝哉, 藤野努, 高柳清美	2016. 10
9	定常歩行における両下肢からの筋シナジーの類似性の検討	共著	第35回 関東甲信越ブロック理学療法士学会、横浜	久保田圭祐, 塙大樹, 国分貴徳, 平田恵介, 小林章, 金村尚彦	2016. 10
10	意識的に身体動揺を小さくすることで重心制御法は変わるのか？	共著	第35回 関東甲信越ブロック理学療法士学会、横浜	宮澤拓, 国分貴徳, 小平寛岳, 瀧谷春奈, 金村尚彦	2016. 10

11	3次元動作解析によるリバー型人工肩関節置換術後の運動円滑さの変化	共著	第35回 関東甲信越ブロック理学療法士学会、横浜	小林章, 村木貴洋, 園尾萌香, 久保田圭祐, 村田健児, 国分貴徳, 金村尚彦	2016.10
12	末梢神経損傷モデルラットに対する運動介入が神経可塑性に与える影響	共著	第35回 関東甲信越ブロック理学療法士学会、横浜	中本幸太, 金村尚彦, 村田健児, 国分貴徳, 清水大介, 武川夏奈, 峯岸雄基	2016.10
13	12週間のトレッドミル走行運動を実施したラット肺組織の形態観察	共著	日本呼吸ケア・リハビリテーション学会、横浜	亀田光宏, 村田健児, 松本純一, 国分貴徳, 金村尚彦	2016.10
14	異常関節運動制動が膝関節軟骨異化反応に及ぼす影響	共著	第51回 日本理学療法学会、札幌	鬼塚勝哉, 鬼塚勝哉, 金村尚彦, 村田健児, 峯岸雄基, 清水大介, 国分貴徳, 森下佑里, 薄直宏, 高柳清美	2016.5
15	円背姿勢は立位姿勢制御能に影響を及ぼすのか?	共著	第51回 日本理学療法学会、札幌	宮澤拓, 宮澤拓, 国分貴徳, 小平寛岳, 瀧谷春奈, 金村尚彦, 高柳清美	2016.5
16	異常運動の制動が関節内における軟骨破壊因子の発現に及ぼす影響	共著	第51回 日本理学療法学会、札幌	三井直人, 国分貴徳	2016.5
17	テンポの変化が打鍵時の上肢及び手指の運動制御に与える影響	共著	第51回 日本理学療法学会、札幌	小林章, 青木健太, 園尾萌香, 国分貴徳, 高柳清美, 金村尚彦	2016.5
18	ラットにおける低負荷・高負荷のトレッドミル運動が肺組織に及ぼす影響	共著	第51回 日本理学療法学会、札幌	亀田光宏, 亀田光宏, 村田健児, 森雅幸, 森下佑里, 松本純一, 国分貴徳, 金村尚彦	2016.5
19	歩行速度の変化に伴う筋シナジーパターンの特徴的な因子の分析	共著	第51回 日本理学療法学会、札幌	久保田圭祐, 園尾萌香, 塙大樹, 国分貴徳, 平田恵介, 金村尚彦	2016.5
20	健常成人における椅子からの起立動作時の筋シナジー 運動学的・運動力学的協調性との関係	共著	第51回 日本理学療法学会、札幌	塙大樹, 久保田圭祐, 久保田圭祐, 国分貴徳, 丸毛達也, 村田佳太, 星文彦	2016.5
21	超音波診断装置を用いた立ち上がり動作時における腓腹筋内側頭の動態変化について	共著	第51回 日本理学療法学会、札幌	吉野晃平, 国分貴徳, 園尾萌香, 金村尚彦	2016.5
22	歩行時のarm swingと体幹回旋運動の左右対称性	共著	第51回 日本理学療法学会、札幌	平田恵介, 国分貴徳, 一寸木洋平, 藤尾公哉, 久保田圭祐, 園尾萌香, 金村尚彦	2016.5
23	ラットの開放創に対する機械的伸張刺激による表皮被覆率とVEGFおよび α -SMAの変化	共著	第51回 日本理学療法学会、札幌	森雅幸, 村田健児, 国分貴徳, 林弘之, 亀田光宏, 亀田光宏, 森下佑里, 高柳清美, 金村尚彦	2016.5

24	ラット前十字靭帯損傷モデルにおける前方引き出しの制動が急性期の靭帯治癒関連因子に与える影響	共著	第51回 日本理学療法学会大会, 札幌	森下佑里, 金村尚彦, 国分貴徳, 村田健児, 高柳清美	2016. 5
25	筋収縮様式の違いによるメカニカルストレスの変化がEnthesis (腱付着部) に及ぼす影響	共著	第51回 日本理学療法学会大会, 札幌	黒尾元基, 国分貴徳, 村田健児, 金村尚彦	2016. 5
26	中年期ラットACL損傷モデルにおける神経栄養因子NGF・BDNF, 成長関連タンパク質GAP - 43mRNAの発現動態	共著	第51回 日本理学療法学会大会, 札幌	武川夏奈, 金村尚彦, 国分貴徳, 村田健児, 森下佑里, 宮下紗季, 峯岸雄基, 清水大介, 萩台保之, 中本幸太, 高柳清美	2016. 5
27	中年期ラットACL損傷モデルにおける血小板由来増殖因子PDGF - A, Collagen type I・III mRNAの発現動態	共著	第51回 日本理学療法学会大会, 札幌	峯岸雄基, 金村尚彦, 国分貴徳, 村田健児, 森下佑里, 武川夏奈, 宮下紗季, 清水大介, 萩台保之, 中本幸太, 高柳清美	2016. 5
28	前十字靭帯再建者の関節変動性とWB1の関係性について	共著	第51回 日本理学療法学会大会, 札幌	山下祐輔, 金村尚彦, 国分貴徳, 藤野努, 丸毛達也, 埜大樹, 高柳清美	2016. 5
29	動的最適化からみた着地動作	共著	第51回 日本理学療法学会大会, 札幌	藤野努, 国分貴徳, 金村尚彦, 村田健児, 丸毛達也, 高柳清美, 四維浩文	2016. 5
30	ラットACL切断モデルでは外側半月板の変性に変形性膝関節症の誘因となり得る	共著	第51回 日本理学療法学会大会, 札幌	萩台保之, 国分貴徳, 三井直人, 金村尚彦, 高柳清美	2016. 5

(4) その他

1	該当なし				
2					
3					

2. 競争的資金等の研究

	競争的資金等の名称	研究名、研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	該当なし		
2			
3			

3. 教育業績

	講義・演習・実習・論文指導等の名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
(1) 講義			
1	運動学入門	2016. 4~8	1年生に対し解剖学と運動学との関連について講義と実習を行った。
2	身体構造運動学	2016. 10~2017. 2	1年生に対し、人体の各関節における機能解剖について、講義を行った。また、講義を収録し、Web Classで視聴可能な環境を整えた。講義内で開発したiPad Appを使用して解説を行った。
(2) 演習			
1	臨床推論演習	2016. 4	4年生に対し、実習において基本となる疾患に対する評価と治療の流れについて、PBL形式で演習を行った。
2	理学療法特別演習	2016. 12	4年生に対し、国家試験に関わる解剖・生理学領域の解説を行った。
3	理学療法セミナー（OSCE I, II）	2016. 4~2016. 3	3, 4年生に対し、科目担当者として試験監督とフィードバックを担当した。
4	運動学的臨床推論演習	2016. 11~2017. 2	3年生に対し、患者の病態について、運動学的な視点から問題点を考察し、介入方法を検討する流れについて演習を行った。

(3) 実習				
1	ヒューマンケア体験実習	2017. 9~2017. 10	1年生に対し、施設担当者として実習を担当した。	
2	運動学実習	2016. 4~8	2年生に対し、重心の推定とその動揺、姿勢と重心について、古典的方法から、重心動揺計及び三次元動作解析装置と床反力計を使用した実習を行った。	
3	機能診断学実習	2016. 10~2017. 2	2年生に対し、整形外科疾患の基本的な評価において使用するテスト方について実習を行った。主として上肢の評価方法を担当した。	
4	臨床教育実習 I, II, III, IV	2016. 9~2017. 3	2, 3, 4年制の実習における施設の担当者として、実習施設訪問と実習後のフィードバックを担当した。	
(4) 論文指導				
1	卒業論文 1	2015. 4~2016. 12	タイトル：関節制動時の運動介入が 関節軟骨に与える予防的影響	
2	卒業論文 2	2015. 4~2016. 12	タイトル：異なる筋収縮様式がラットEnthesis及び棘上筋腱複合体に及ぼす影響	
3	卒業論文 3	2015. 4~2016. 12	タイトル：小学生と大学生を対象とした足部・靴に関する横断的調査研究 -横アーチに着眼した足部形状の比較-	
4	卒業論文 4	2015. 4~2016. 12	タイトル：体幹の傾斜角度がスクワット動作時の下肢 kinematicsに及ぼす影響	
(5) その他				
1	学部ゼミ生指導	2016. 4~2017. 3	1~4年生の総勢13名のゼミ生に対し、指導を行った。	
2	国立リハビリテーションセンター学院 義肢装具学科 (非常勤講師)	2016. 8~2016. 12	運動学に関する講義と試験を担当した。	
3	帝京科学大学 理学療法学科 (非常勤講師)	2016. 10~2016. 11	運動学実習において、重心の計測とその意義についての実習を担当した。	
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会等の講師				
	講演会、研修会等の名称	主催	講演、研修等のテーマ	開催年月
1	臨床実習指導者講習会	本学理学療法学科	重心・モーメントの理解と実践応用	2016. 12
2	彩の国いきがい大学熊谷学園	公益財団法人いきいき埼玉	高齢者の身体と運動	2016. 9
3	高校出張講座	県立川口北高校	成長期の骨軟骨障害と理学療法	2016. 10
4	高校出張講座	県立松山高校	成長期の骨軟骨障害と理学療法	2016. 10
2	大学見学会・模擬講義	県立松山高校	身体の形と機能	2016. 11
3				
(2) 国、自治体、財団法人等における委員等				
	国、自治体、財団法人等の名称	委員等の名称	任期	
1	公益社団法人 埼玉県理学療法士協会	学術編集部員	2016. 4~現在	
2	専門リハビリテーション研究会	学術査読委員	2012. 4~現在	
3	体力科学会	査読委員	2016. 7~現在	
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容	年月	
1	該当なし			
2				
3				
5. 学内運営 (委員会委員)				
1	情報図書委員会委員 (2013. 4~)			
2	ICT部会部員 (20116. 4~2017. 3)			
3	理学療法学科15期生副担任、学科備品管理担当、オープンキャンパス運営			

6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の保有状況			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
	該当なし		